

平成 2 7 年度

熊本県学力調査
「ゆうチャレンジ」

中学校 第 1 学年 社会

- 問題は 1 ～ 5 で，10 ページまであります。
- 解答用紙は中にはさんであります。取り出して使用しなさい。

年 組 号	
名 前	

熊 本 県 教 育 委 員 会

- 1 ^{かおり} 香さんと ^{ひろし} 浩さんは、小学校で学習した国の政治について ^ふ 振り返っています。次の各問いに答えなさい。

香：浩さん、国民の祝日って知っていますか。

浩：はい。知っています。たとえば、5月3日は ^{けんぽう} 憲法記念日、4日はみどりの日、5日はこどもの日です。

香：国民の祝日は、どこで決められたのかな。

浩：それは、「国会」だと思います。

- (1) 「国会」の役割に当てはまるものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々の間で争いや犯罪が起こったときに、憲法や法律に ^{もと} 基づいて判断し解決する。

イ 国民の暮らしにかかわる法律や、政治を進めるために必要な予算などが、多数決で決められる。

ウ 予算を使って、実際の国民の暮らしを支える仕事を行う。

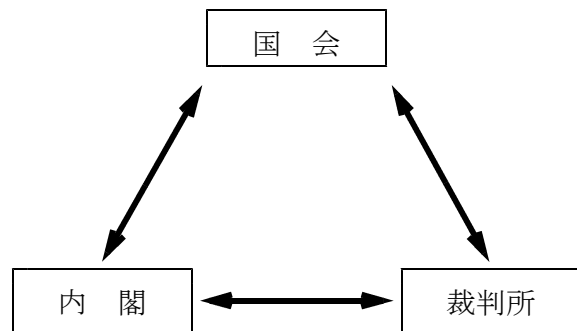
- (2) 国の政治を行うのは「国会」のほかに、「^{ないかく}内閣」と「^{さいばんしょ}裁判所」がありますが、**資料**を参考にして、次のア～ウから ^{あやま} 誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 仕事を分担しているが、それぞれの機関は独立していない。

イ おたがいの仕事を ^{かんし} 監視して、いきすぎがないようにしている。

ウ 1つのところに権力が集まることがないようにしている。

【資料】



香：それでは、9月の第3月曜日は何の日か、知っていますか。

浩：敬老の日です。長い間社会につくしてきた、おばあちゃん、おじいちゃんを敬愛し、長生きを祝う日ですよ。

香：そのとおりです。私のおばあちゃんも、おじいちゃんも ^{こうれい} 高齢になり、最近は病院に何度も行っているので心配です。病院に払うお金もたくさん必要になるのではないかと思います。

浩：でも、A 高齢者の ^{いりょうひ} 医療費の一部は、国の税金から出されていますよ。これは、日本国憲法で基本的人権を保障しているからです。

- (3) 左ページの会話文中の下線部Aについて、日本国憲法に示された基本的人権のどの権利を保障したものを次の中から選んで答えなさい。

基本的人権 (一部)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> 裁判を受ける権利 | <input type="radio"/> 教育を受ける権利 |
| <input type="radio"/> 政治に参加する権利 | <input type="radio"/> 健康で文化的な生活を営む権利 |
| <input type="radio"/> 思想や学問の自由 | <input type="radio"/> 男女の平等 |

- (4) 日本国憲法には、さまざまな国民の権利が保障されていますが、国民が果たさなければならぬ義務についても定められています。下の（ ）に適切な言葉を書きなさい。

☐ 子どもに教育を受けさせる義務

☐ 仕事について働く義務

☐ () を納める義務

香：これからの日本は、高齢化が進んでいくと予想されています。

浩：それでは、B 高齢化が進んだ社会で生活していくために必要なことを考えてみましょう。

香：私は、体が不自由になっても、安心して使用できる多機能トイレなどの設備をつくる
ことが必要だと考えます。

浩：とても大切なことですね。

- (5) 上の会話文中の下線部Bについて、高齢者の立場に立って、あなたの考えを書きなさい。

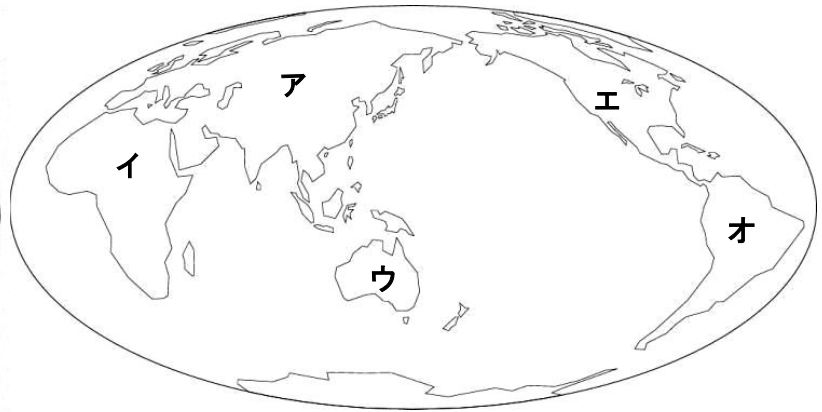
2 香さんは、地図や地球儀^{ちきゅうぎ}を使って気候の学習をしています。

- (1) 地球儀は、地球の形をそのまま縮めたもので、大陸や島の形や位置が正しく表されています。一方で、一度にすべての大陸や島、海などを見ることはできません。資料1の状態にある地球儀で、見ることができない大陸を資料2のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

【資料1】

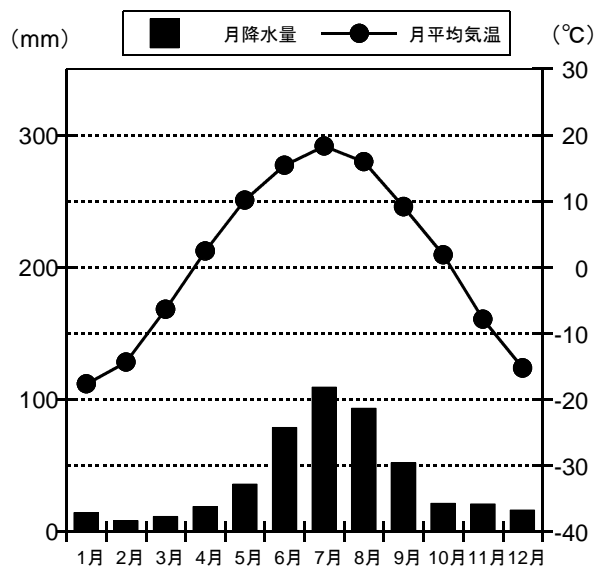


【資料2】

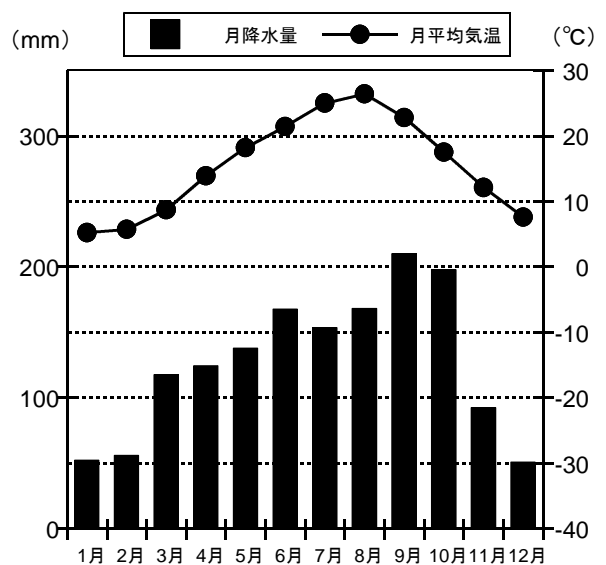


- (2) 香さんは、留学生のエリーさんの母国の気候に興味をもちました。エリーさんの母国の気候について、東京の気候と比較^{ひかく}して気付いたことを答えなさい。

【資料3】 エリーさんの母国の気温と降水量

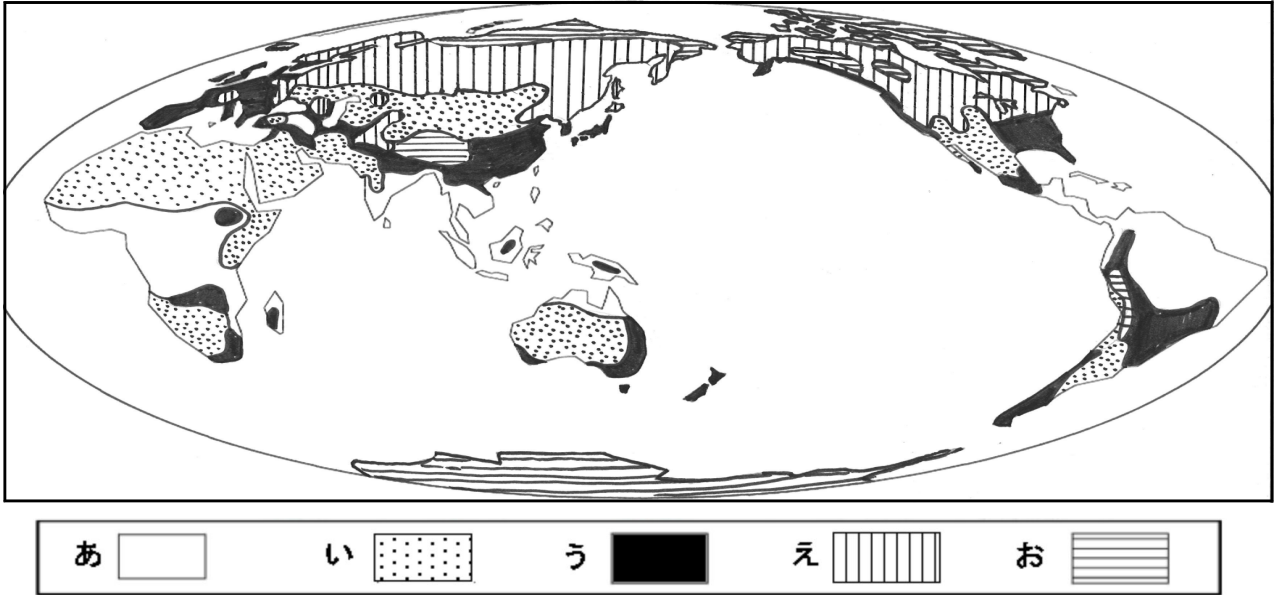


【資料4】 東京の気温と降水量



(「2014年気象庁資料」より作成)

(3) 資料3のエリーさんの母国が属する気候帯を下のあ～おから1つ選び、記号で答えなさい。



(世界の気候「W. P. ケッペン原図参考」)

(4) エリーさんの母国が属する気候帯で多く見られる植物を次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

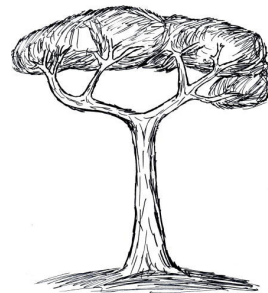
ア



イ

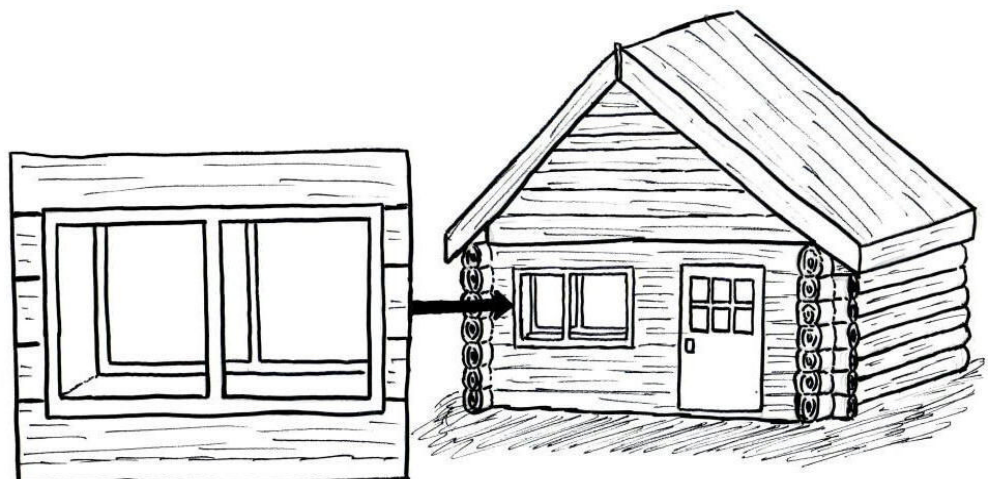


ウ



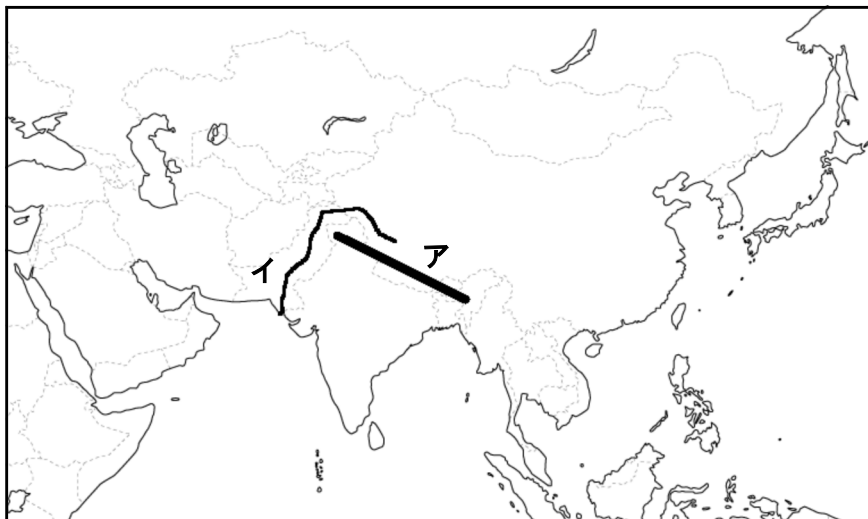
(5) 世界各地の気候について学習していく中で、気候に対応した生活が行われていることを学びました。エリーさんの家では、資料5のような工夫^{くふう}を行っています。その理由を気候と関連付けて答えなさい。

【資料5】



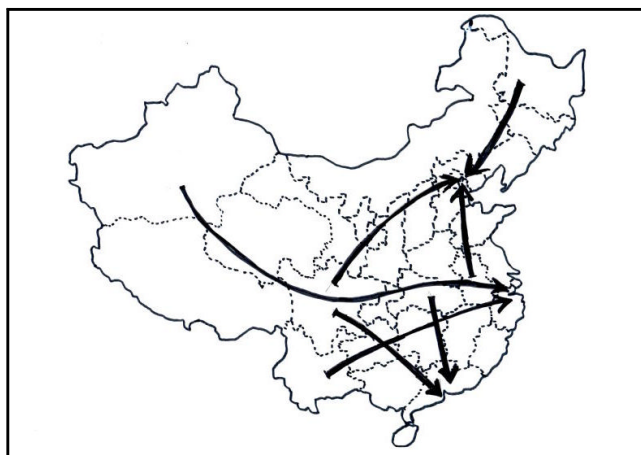
③ 香さんと浩さんは、アジア州について学んだことを発表するために学習を振り返っています。

- (1) 右の地図の**ア**の山脈
と**イ**の川の名前を書き
なさい。

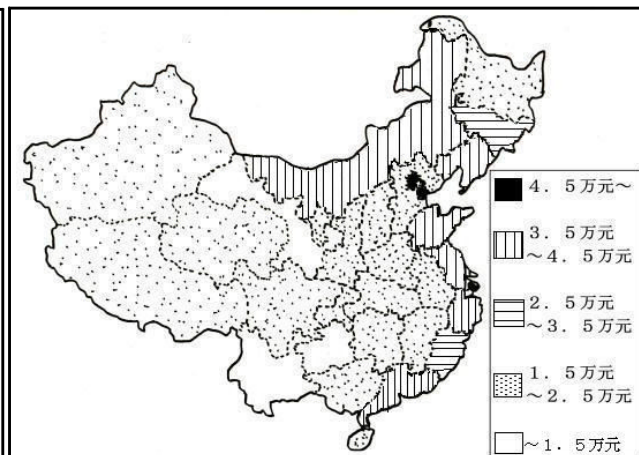


- (2) 資料1は、中国国内における人の移動をあらわしたものです。このように内陸部から沿岸部への人の移動が見られる理由を資料2を使って答えなさい。

【資料1】中国国内の人口移動



【資料2】一人当たりの地域別国内総生産額



※元（げん）とは、中華人民共和国の通貨で日本における呼び名。

ねんかん
（「中国統計年鑑2013」より作成）

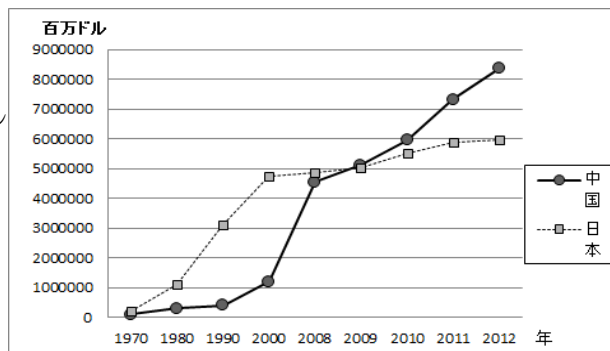
- (3) 人口が内陸部から沿岸部へ移動していくことによって、沿岸部では、どのような問題が発生すると考えられますか。次の**ア**～**オ**から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア** こうつうもう交通網の整備が追いつかず、じゅうたい交通渋滞が起きる。
イ 住む場所が十分に確保されず、住宅が不足する。
ウ こうけいしゃ後継者不足で、伝統的な生活や文化が失われる。
エ おとろさまざまな産業が衰え、都市の活気がなくなる。
オ かいごしせつ高齢化が進み、介護施設が不足する。

- (4) 資料3は、日本と中国の国内総生産の推移を表したグラフです。この資料を見た香さんと浩さんは、「なぜ、中国の国内総生産はこんなに増えたのだろう。」と考えました。

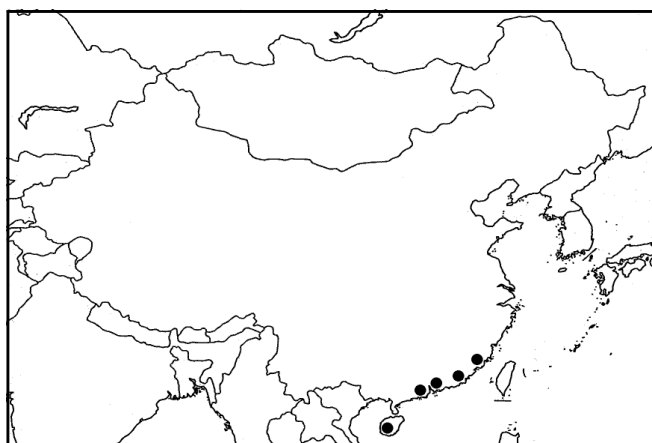
中国の国内総生産が急激に増えた理由の1つとして考えられることを資料4と資料5を使って説明しなさい。

【資料3】日本と中国の国内総生産の推移



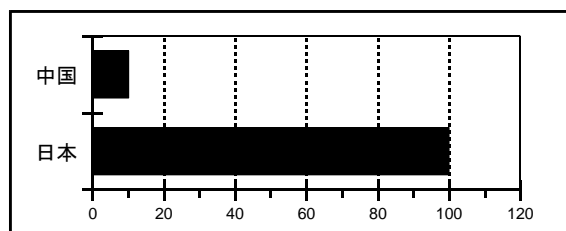
(「JAMA」統計資料より作成)

【資料4】 中国の経済特区



※「経済特区」とは、中国が外国企業を受け入れるためにつくられた特別な地域のこと。

【資料5】 賃金比較 (製造業)



* 日本の賃金を100とした場合

(「世界の統計2015」より作成)

- (5) 中国の人口または農業の特色について、日本と比較しながら説明することになりました。

人口、農業のどちらかのテーマを1つ選んだ後、説明に必要な資料を下のア～エから2つ選び、説明しなさい。

テーマ：	人口	農業
------	----	----

ア 人口、面積

	人口	面積
日本	12,805万人	37.8万km ²
中国	133,770万人	959.7万km ²

イ 農畜産物の生産量
のうちくさんぶつ

	米	小麦	牛肉
日本	1,066万t	86万t	52万t
中国	20,429万t	12,058万t	554万t

ウ 人口構成

	0～14歳	15～64歳	65歳～
日本	13.2%	63.8%	23.0%
中国	18.1%	73.5%	8.4%

エ 農林水産業従事者と農地面積
のうりんすいさんぎょうじゅうじしゃ

	農林水産業従事者	農地面積
日本	124.6万人	4,549千ha
中国	49613.2万人	121,720千ha

(「世界の統計2015」より作成)

- 4 香さんと浩さんの会話文を読んで、次の各問いに答えなさい。

浩：香さん、これが何だか分かる。

香：何かの絵かな。

浩：実はこれ、漢字のもとになった

A 昔の中国の文字なんだよ。

香：そうなんだ。ちなみに、一番左
の文字は何と読むの。

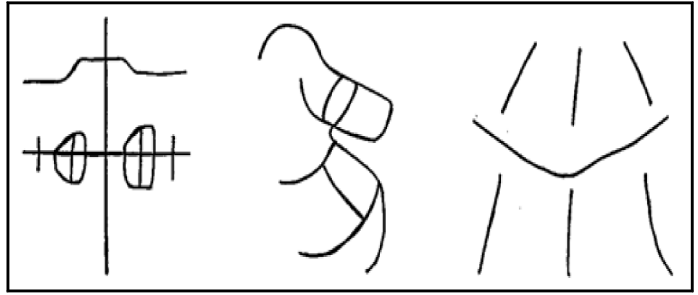
浩：それは、「車」と読むんだ。そして、真ん中が「象」って読むんだよ。

香：一番右は何と読むの。

浩：それは「米」だよ。

香：そう言われてみると、米みたいな形に見えるね。これが日本に伝わって私たちが使っているんだね。そういえば、B 米をつくる技術も大陸から伝わったと学習したね。

浩：そうだったね。米づくりが始まってから、C 日本の社会は大きく変わったね。もう一度復習してみよう。



- (1) 会話文の下線部Aについて、漢字のもとになった古代中国の文字の名称^{めいしょう}を答えなさい。
- (2) 資料1は下線部Bの技術とともに伝えられた建物である。どのような工夫がみられるか、答えなさい。

【資料1】



- (3) 資料2は下線部Cの日本の社会の変化が分かる中国の歴史書である。これらの資料から読み取れることとして、誤っているものを、次のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

【資料2】中国の歴史書

紀元前1世紀ごろ

楽浪郡^{らくろうぐん}の海^みのかなたには倭人^わが住んでいて、100あまりの国に分かれている。倭人たちは、漢の楽浪郡の役所に、毎年定期的に貢ぎ物を持って来ているようだ。（「漢書地理志」より部分要約）

1世紀中ごろ

倭の奴国^{なこく}が貢ぎ物^{みつもの}を持って、漢の都洛陽^{らくよう}にやって来た。…奴国は倭の南のはしにある国である。漢の皇帝は奴国王の位を認め、そのあかしとして金印とひもをさずけた。（「後漢書東夷伝」より部分要約）

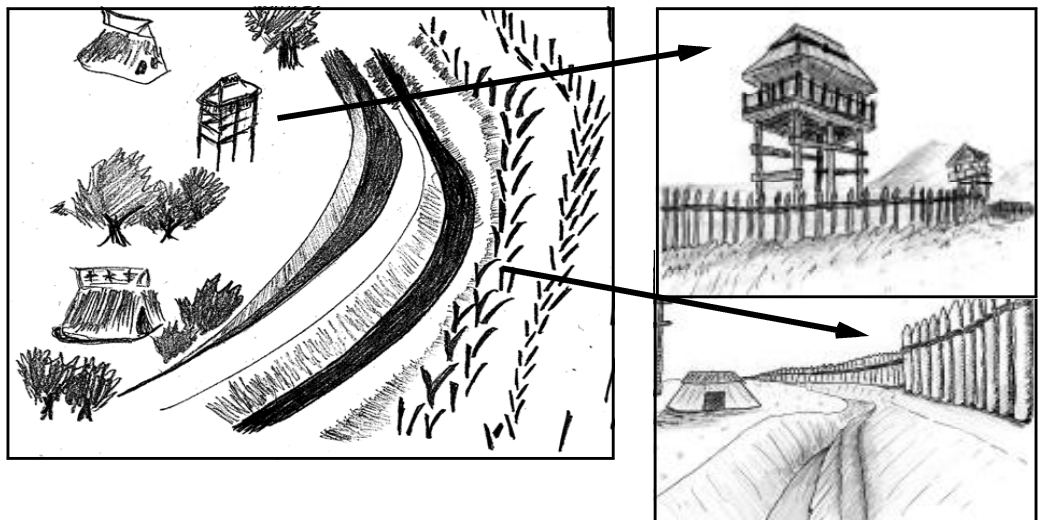
3世紀中ごろ

倭は島に国をつくり、30か国が使節を送ってくる。もとは男の王がおさめていたが、70～80年たつと、戦乱が何年も続くようになった。そこで、1人の女性を王とし、卑弥呼^{ひみこ}とよんだ。（「魏志倭人伝」より部分要約）

- ア 時代が進むにつれて国の数がしだいに減り、大きな集団へとまとまっていった。
- イ 集団をまとめる人物があらわれるようになったが、みな平等な生活をしていた。
- ウ 日本から中国へ多くの貢ぎ物を持って行っただが、相手からはもらうことはなかった。
- エ 中国へも使いを送るようになり、国内だけでなく大陸の国々との交わりも増えてきた。

- (4) 3世紀ごろになると、日本の社会に「争い」が起きていたと考えられる。そう考えられている理由を当時のむらの様子を示した資料3の図をもとにして説明しなさい。

【資料3】



- (5) 大陸から伝わった稲作^{いなさく}が、日本全体に広がっていった理由を答えなさい。

5 香さんと浩さんは、古代の税制度の歴史についてまとめることにしました。次の問いに答えなさい。

- (1) 資料1がつくられた時代の日本がどのような国づくりを目指していたか、資料1から分かることを書きなさい。

【資料1】^{じゅうしちじょう}十七^{ばっすい}条の憲法（抜粋）

一に^{いわ}曰く、和をもって^{たつと}貴しとなし。さからう（^{あらそ}争う）ことなきを宗とせよ。
三に^{いわ}曰く、^{みことのり}詔（天皇の命令）を^{うけたまわ}承りては必ずつつしめ。

- (2) 中国の文化や制度を取り入れた日本では、法律に基づく政治が行われるようになりました。

資料2を参考にして、^{はんでんしゅうじゅのほう}班田収授法の内容として正しいものには○を、誤っているものには×を、ア～ウのそれぞれについて答えなさい。

【資料2】班田収授法の内容

口分田をあたえるについては、男は2段、女は男の3分の2にする。5歳以下の者にはあたえるな。…
口分田は6年に1回あたえなさい。…もし、本人が死んで口分田を返す場合には、班田収授が行われる年になったときに回収しなさい。
(^{りょうのぎげ}「^{りょう}令^{ぎげ}義解」から部分要約)

- ア 男性と女性には同じ広さの口分田が与えられた。
イ 口分田はすべての大人と子どもに与えられた。
ウ 死んだら口分田を返さなくてはならなかった。

【まとめ】「テーマ：古代の税制度について」

農民にかけられた税	農民にとってはきつい負担
○(a)・・・稲(収穫の約3%)	↓
○(b)・・・麻布(労役の代わり)	税の負担から ^{のが} 逃れる人々。
○(c)・・・地方の特産物 (絹・糸・布製品など)	また、自然災害や人口の増加により口分田が不足。
○都へ(b), (c)を運ぶ	↓
○労役・・・年間60日以内の労働	その後、
○兵役・・・都で皇居の守り(1年) ※防人として九州北部の守り(3年)	① ^{こんでんえいねんしざいのほう} 墾田永年私財法を制定

- (3) 古代の税制度についてまとめた左ページ下の資料の中の（ a ）～（ c ）に当てはまる税の種類組み合わせとして正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア a ^そ租 b ^{ちょう}調 c ^{よう}庸

イ a 調 b 庸 c 租

ウ a 庸 b 租 c 調

エ a 租 b 庸 c 調

- (4) （ b ），（ c ）を都まで運ぶことについて、どんな状^{きょう}況であったか、資料3と資料4から読み取れることを、次のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

【資料3】税を運ぶ農民の様子

税を納めに来た農民たちは、十分な食料を持参しようとする、納めなければならぬ量を運ぶことができず、荷物を減らそうとして途^と中^{ちゅう}で飢^うえてしまうものが多い。（「^{しよくにほんぎ}続日本紀」より部分要約）

【資料4】都まで税を運ぶのにかかる日数

	加賀 (石川県)	駿河 (静岡県)	陸奥 (東北地方)
行き	12日	18日	50日
帰り	6日	9日	25日

（「^{えんぎしき}延喜式」から抜粋）

- ア 納めなければならぬ量、持っていく食料とのバランスがとれなかった。
- イ どの場所からも、十分な食料を持っていくことができた。
- ウ 遠い場所から都まで税を運ぶ場合には、時間がかかるため、農民は運ぶ量を少なくすることが認められた。
- エ 帰りは行きの2分の1の日数で帰ることができた。

- (5) 左ページの【まとめ】「テーマ：古代の税制度について」の下線部①について、この法律が出された理由を、次の資料5をもとに「土地」、「意欲」、「税」の3つの語句を使って説明しなさい。

【資料5】墾田永年私財法の内容

開墾した田は期限がくると公地として取り上げられてしまうため、農民は意欲を失い、せっかく開墾してもまた荒^あれてしまっている。今後は開墾した土地は自由に私有し、永久に公地として取り上げないこととする。（「続日本紀」から部分要約）